

IT Solution for You!

PCI Holdings, Inc.



PCIホールディングス株式会社

(東証1部：3918＝サンキュー<愛が>いっぱい)

2021年9月期 決算説明資料

2021.11.17

ステークホルダーの皆様へ



当社は2005年に創業し、IT関連事業を営む連結子会社を傘下に置く**まだ若い純粋持株会社**です。ITをもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指す、特徴のある企業が4つの事業領域を展開しております。

インベデッドソリューション事業では、**車載関係・自動運転(AD・ADAS)・EV**等の自動車関連の各種開発案件のほか、スマートフォンに関連する通信制御、重機・建機、デジカメをはじめとする情報家電等の組込みソフトウェアの開発、**VR/ARやAI**等の先端技術開発へのソフトウェア技術提供と研究開発、各種製造・検査機器等への企画・設計・開発・検査・製造・保守の**川上から川下までのワンストップソリューション**を提供しています。

ビジネスソリューション事業では、技術オリエンテッドな事業展開を強みに、金融や流通、製造業等の幅広い業種へのITシステムを提供し、**DX推進**にも貢献しています。

IoT/IoEソリューション事業は、電気通信事業者識別番号「**0067**」をTV応募やアンケート等で活用いただくサービス、LINEスタンプなどモバイルコンテンツを制作・配信する独自ブランド、位置情報を活用した効率的なITサービスの提供など特徴あるICTサービスのほか、サイバーセキュリティ領域へも注力しています。

半導体トータルソリューション事業は、大手半導体メーカー様に対し、LSI設計、テスト、評価等の半導体開発全般のサービスを提供しています。

当社は2020年11月に売上高300億円の挑戦的目標を掲げた**新中期経営計画「PCI-VISION 2023」**を発表しました。2021年1月には組込みPCの企画・設計・開発・検査・製造・保守を一気通貫で提供する**株式会社ソードがグループに参画**しました。これは「PCI-VISION 2023」に掲げた「ハードウェアとソフトウェアの融合による自社製品を提供し、**One-Stopソリューションを実現**」することにつながります。

これからも、**M&A戦略**を実行しながら、有言実行でさらなる成長を目指してまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。



代表取締役会長兼社長 天野 豊美

目次

1.エグゼクティブサマリー

2.2021年9月期 通期業績

3.2021年9月期 トピックス

4.2022年9月期 通期業績予想

5.中期経営計画の進捗状況

6.業務提携とM&A方針

7.SDGs、カーボンニュートラル、株主還元への取り組み

8.Appendix

売上高

212億円

(前年同期比+26.8%)

営業利益

11.7億円

(前年同期比+56.5%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

6.6億円

(前年同期比+133.5%)

【事業環境】

感染症対策に伴う、**テレワーク導入企業の増加**によるITインフラ整備・強化、**非接触**対応、**医療ICT化**促進、**DX**等への優先的な投資傾向がみられ、**IT投資需要は底堅く推移**。

【実行戦略】

感染症の影響による経済・社会のビジネスモデル・産業構造の変化及び生活者変化を捉え、**社会全体のデジタル化の加速による新規需要の取り込み**を図る。

【規模拡大】

2021年1月、組込みパソコン、コントローラー及び周辺機器の開発、設計、製造等の**エンベデッドソリューション事業**を展開する**株式会社ソードを完全子会社化**。ソフトウェアとハードウェアを問わず、顧客のあらゆるITニーズに対応する「**One-Stop-Solution**」の確立を目指す。

【中期経営計画推進】

2020年11月13日公表の3ヶ年中期経営計画「**PCI-VISION 2023**」に基づき、**持続的成長を目指して事業活動を推進**。

2021年9月期 通期業績



連結貸借対照表 (B/S)

- ・ ソード社の連結子会社化により固定資産（のれん）が増加
- ・ 公募並びに第三者割当増資により、自己資本比率は42.8%に向上（前連結会計年度末は40.4%）

(百万円)	20/9期末	21/9期末
流動資産	8,625	11,198
現預金	4,831	3,310
売上債権	3,292	6,085
その他	501	1,802
固定資産	3,816	6,193
のれん	979	2,299
投資有価証券	1,385	1,403
その他	1,450	2,490
資産合計	12,442	17,391

(百万円)	20/9期末	21/9期末
流動負債	3,588	6,505
仕入債務	950	2,787
借入・社債	926	868
その他	1,711	2,849
固定負債	3,426	2,935
借入	2,753	1,925
退職給付に係る負債	159	135
その他	512	875
負債合計	7,014	9,441
純資産合計	5,427	7,950
負債純資産合計	12,442	17,391

連結キャッシュ・フロー（CF）

- ・ ソード社の買収に伴い一時的にフリーキャッシュフローは減少も、収益力向上により、税前利益は増加

(百万円)	20/9期	21/9期
営業活動によるCF	1,329	948
税金等調整前当期純利益	588	1,211
減価償却費	112	155
のれん償却額	104	154
売上債権増減	724	3
棚卸資産増減	▲54	▲276
仕入債務増減	▲29	25
その他	▲116	▲326
投資活動によるCF	▲523	▲3,364
有形固定資産取得	▲26	▲42
投資有価証券取得	▲394	▲143
連結の範囲変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	▲3,090
その他	▲102	▲88
フリーキャッシュフロー	805	▲2,416

(百万円)	20/9期	21/9期
財務活動によるCF	827	848
借入金及び社債の増減	858	▲934
配当金の支払い	▲246	▲254
株式の発行による収入	—	2,091
その他	216	▲53
現金及び同等物の期末残高	4,819	3,298

【営業活動によるCF】

- ・ のれん償却費、棚卸資産の増加はソード子会社化に伴うもの
- ・ 売上債権については電子債権化に伴う増減が主

【投資活動によるCF】

- ・ ソード子会社化に伴い、一時的に支出が増加

【財務活動によるCF】

- ・ 公募増資を実施した他、借入金の返済が着実に進む

連結損益計算書サマリー (P/L)



- ・ DX、リモートワークシフトなどで企業のICT投資は底堅く、前期より大幅な増収増益を達成
- ・ 子会社化したソード社の業績計上は第3四半期以降のみ。各段階利益率も向上

(百万円)	20/9期		21/9期		
	通期	売上高比率	通期	売上高比率	前期比増減
売上高	16,758	100.0%	21,248	100.0%	+26.8%
売上総利益	4,499	26.8%	5,693	26.8%	+26.5%
販管費	3,749	22.4%	4,519	21.3%	+20.5%
営業利益	750	4.5%	1,174	5.5%	+56.5%
経常利益	804	4.8%	1,208	5.7%	+50.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	286	1.7%	669	3.2%	+133.5%
EPS**	34.85	-	76.12	-	+118.4%

*EPSは2020/4/1に実施した1:2の株式分割が20/9期 期首に行われたと仮定し算出

Copyright (C) 2021 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.

事業別の概況



【新規取り込み】

好調な事業環境に加え、ソード社の業績取り込みもあり、ITソリューション事業の**エンベデッドソリューション、ビジネスソリューションが共に伸長。社内計画も上回る着地。**

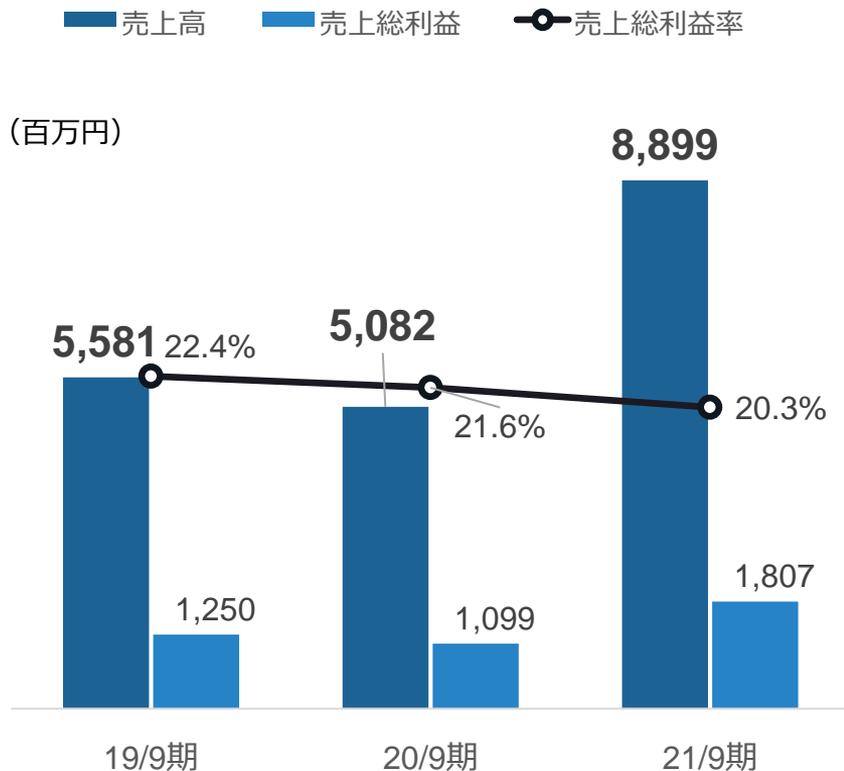
【事業別概況】

エンベデッドソリューションはリモートワークシフト等による通信分野が好調、M&A効果もあり、前期より大幅上昇。ビジネスソリューションは、金融・産業・流通分野が好調に推移。IoT/IoEソリューションは、通信や自動車向け案件等が好調も、コロナ禍による営業活動の制限により、一部事業が一時的に減少。半導体トータルソリューション事業は、半導体市場の好調もあり、引き続き好調。

売上高 (百万円)	20/9期	21/9期	売上比率	前年同期比
ITソリューション事業 (A+B)	12,523	16,770	78.9%	+33.9%
エンベデッドソリューション (A)	5,082	8,899	41.9%	+75.1%
ビジネスソリューション (B)	7,441	7,870	37.0%	+5.8%
IoT/IoEソリューション事業	2,452	2,428	11.4%	▲1.0%
半導体トータルソリューション事業	1,781	2,049	9.7%	+15.0%
合計	16,758	21,248	100.0%	+26.8%

※セグメント間振替前

事業別業績：エンベッドソリューション



売上高 **8,899**百万円
(前期比+75.1%)

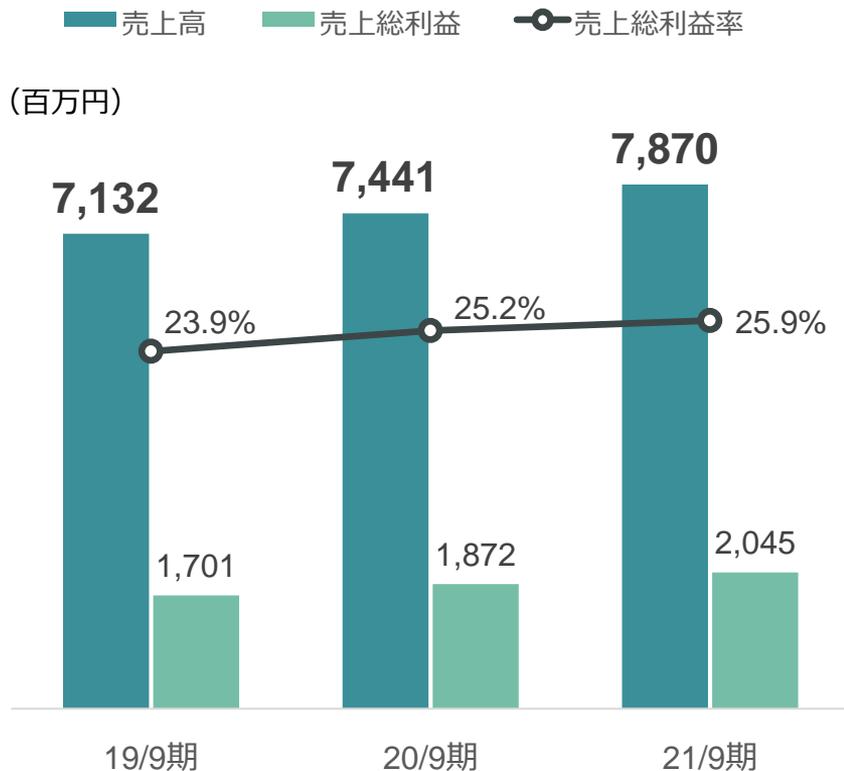
売上総利益 **1,807**百万円
(前期比+64.4%)

- 前期より大幅な増収増益
- コロナ禍の影響により自動車分野は1Qに受注減も、2Q以降回復傾向
- 企業のテレワーク導入増により、通信インフラ需要やルーター開発等のネットワーク関連案件が増加
- ソード社の医療向け組込みパソコン、コントローラー、周辺機器開発、設計、製造等関連も収益に大きく寄与

*当事業に計上される主な子会社

PCIソリューションズ、プリバテック、ソード内の関連事業

事業別業績：ビジネスソリューション



売上高 **7,870**百万円
(前期比+5.8%)

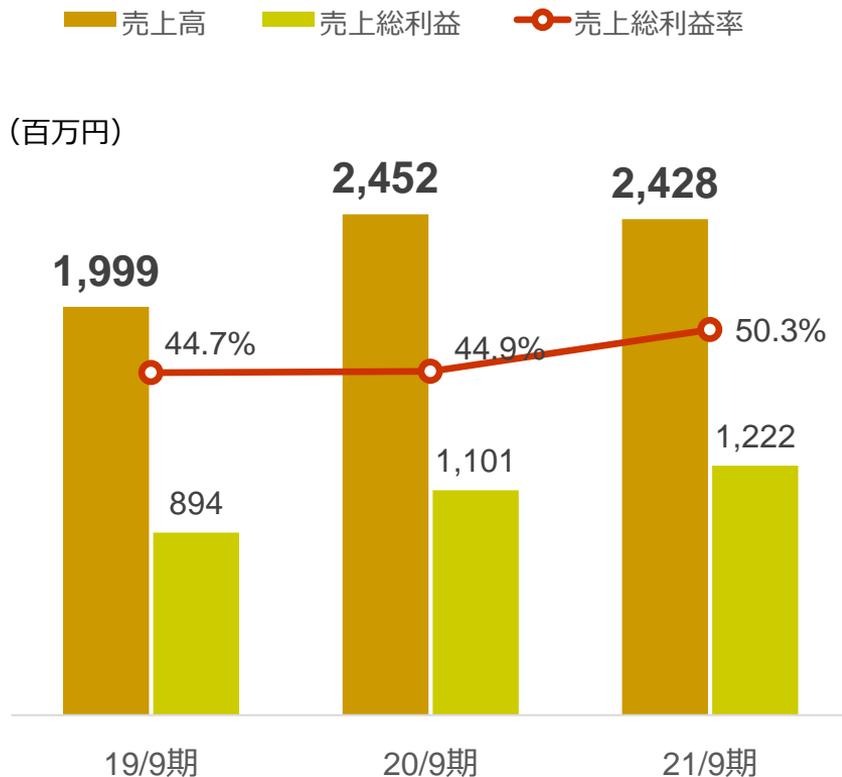
売上総利益 **2,045**百万円
(前期比+9.3%)

- ・ 堅調な需要により、前期より増収増益
- ・ 金融、産業、流通向けの開発案件が堅調、社会インフラ、公共向け案件も好調に推移
- ・ ソード社のコールセンター及びキッキング業務での請負案件が収益寄与
- ・ 文教系分野を担うインフィニテックについては、業績不振により戦略的に事業縮小、プライベートクへ経営統合

*当事業に計上される主な子会社

PCIソリューションズ、シー・エル・シー、リーふねっと、インフィニテック、
ソード内の関連事業

事業別業績：IoT/loEソリューション



売上高 **2,428**百万円
(前期比▲1.0%)

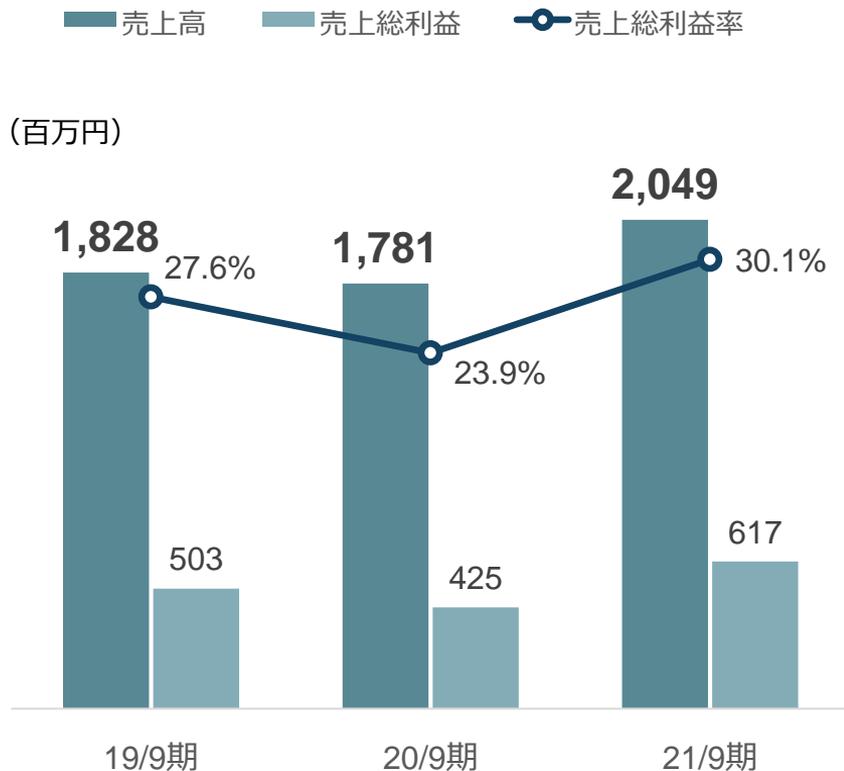
売上総利益 **1,222**百万円
(前期比+10.9%)

- 需要は堅調もコロナ禍の影響で減収増益
- 利益率の高い事業者識別番号を活用した通信事業が好調に推移し、収益性が向上

*当事業に計上される主な子会社

PCIソリューションズ、リーふねっと、インフィニテック内の関連事業

事業別業績：半導体トータルソリューション



売上高 **2,049** 百万円
(前期比+15.0%)

売上総利益 **617** 百万円
(前期比+45.1%)

- DX、テレワークシフトなどによる半導体市場の好況に伴い、前期より大幅な増収増益
- 半導体市場の好調を背景に、既存顧客からのLSI設計・評価・テスト案件の強い引合いが継続
- グループ間及び協業企業との連携による新規案件の受注等、総じて好調に推移
- 新技術の開発及び自社製品の実用化に向けて継続的な研究開発投資を実行

*当事業に計上される主な子会社
プリバテック内の関連事業

2021年9月期 トピックス



【事業環境】

感染症対策に伴う、**テレワーク導入企業の増加**によるITインフラ整備・強化、**非接触**対応、**医療ICT化**促進、**DX**等への優先的な投資傾向がみられ、**IT投資需要は底堅く推移**。

【実行戦略】

感染症の影響による経済・社会のビジネスモデル・産業構造の変化及び生活者変化を捉え、**社会全体のデジタル化の加速による新規需要の取り込み**を図る。

【規模拡大】

2021年1月、組込みパソコン、コントローラー及び周辺機器の開発、設計、製造等の**インベデッドソリューション事業**を展開する**株式会社ソードを完全子会社化**。

ソフトウェアとハードウェアを問わず、顧客のあらゆるITニーズに対応する

「One-Stop-Solution」の確立を目指す。

【中期経営計画推進】

2020年11月13日公表の3ヶ年中期経営計画**「PCI-VISION 2023」**に基づき、**持続的成長を目指して事業活動を推進**。



ソフト・ハードを問わず、 顧客のあらゆるITニーズに対応する ワンストップソリューションの確立

エンベデッドソリューション
製品設計・テスト
企画・製造・販売・保守



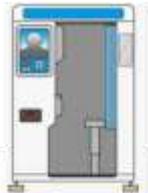
ビジネスソリューション
ITサービス
IoT/loE

サイバーセキュリティ、M&A、業務提携

株式会社ソードの事業内容

- ・国内上位の販売台数・金額を誇る**組込み（エンベデッド）PCメーカー**
- ・開発、設計、調達、製造・品質保証、保守修理までを**ワンストップ**で対応。豊富な経験に基づく**高品質な開発、生産対応**
- ・同社製品（1977年発売）が、小学館の図鑑にて「**日本最初のパソコン**」として紹介

医療事務用PC／証明写真機



組込みパソコン



組込み用コントローラ



- ・EmbeddedOS採用により半年毎の大型アップデートの検証を回避
- ・プログラムの実行や操作を制限、業務以外の作業を禁止

CT/MRI装置用コントローラ



操作用コントローラ



画像構成用コントローラ



画像データ収信用コントローラ

- ※拡張性と性能を兼ね備えたハイエンド・コントローラ
- ※レジスタードIMM (ECC) メモリ採用 メモリ処理の信頼性確保
- ※IPMI2.0による遠隔からの電源コントロール、システム稼働監視が可能

Raspberry Pi® 組込み開発支援サービス



Raspberry Pi®搭載ネットワークカメラ「SRIシリーズ」



Raspberry Pi®カスタムキャリアボード

ラズベリーパイを組込み製品で活用

- ・キャリアボード設計
- ・筐体設計
- ・ソフトウェア受託開発
- ・キッティング
- ・評価支援 など

MFP（マルチファンクションプリンタ）



メモリ、ストレージを組込んでプリンタ内に搭載しやすくレイアウト

組込み用マザーボード



カスタム電源装置



ソード社のグループ入りでハードへの知見・技術力が向上



- ・従来より蓄積してきた**自動車分野や金融分野でのソフトウェア開発の技術力**に加え、直近までに**半導体トータルソリューション**を手掛けるプリバテック等のハード面に強い子会社がグループ入り
- ・今回のソードのグループ入りにより、ハード面での対応力が更に向上、**ハード・ソフト両面からのワンストップソリューション体制確立**へ向け、着実に事業領域を拡大中

ソフト面の対応力・技術力

ハード面の対応力・技術力



～上場前後～

大手自動車メーカーを顧客とする自動車分野などでの組み込み技術、ソフトウェア開発技術を蓄積

～2020年まで

半導体事業獲得でハード面へ本格進出



～2021年から

ソード社グループ化でハード面の対応力UP



→ハードとソフト両面からのワンストップソリューション提供への体制強化

「ハードウェアとソフトウェアの融合」の実績

- 「ハードウェアとソフトウェアの融合によるOne-Stopソリューションの実現」を目的に、国内有数のインベデッドPCメーカーである株式会社ソードを完全子会社化
- 2021年9月には、**AIカメラとしての活用も視野に含むRaspberry Pi®搭載ネットワークカメラの発売を開始**

Innovation Camera

SRi series カメラモデル



ネットワークカメラ「SRiシリーズ」詳細

- 主に**“教育やホビー用途”**だった「Raspberry Pi®（ラズベリーパイ）」を活用し、**ソード社のインベデッド技術**により**“産業用”**として開発したネットワークカメラ
- 安全規格の取得・電波妨害自主規制・静電気対策・熱対策・防塵対策等を施した**専用筐体**を採用
- 人が多く集まる場所での**人流分析**や、施設内での**人物検知**など、**AIカメラによる様々な解析**も簡単に導入。ラズベリーパイを用いることで、**低価格でのAI・ネットワークカメラ**の提供が可能
- 活用範囲は、①**顧客動線監視**、②**サイネージとの連携**、③**アナログ計測器の遠隔検針**、④**工場内監視**等を想定
- お客様の**DXの推進**、**従業員の皆様の「安心・安全」**に貢献

2022年9月期 通期業績予想



- 生活様式や働き方の変化、急速に進展するデジタル化・DX化の加速等による企業社会のIT投資は引き続き底堅い需要

(百万円)	21/9期 実績	22/9期 予想	前期比
売上高	21,248	26,500	+24.7%
営業利益	1,174	1,400	+19.2%
(営業利益率)	5.5%	5.3%	-0.2pt
経常利益	1,208	1,420	+17.5%
(経常利益率)	5.7%	5.4%	-0.3pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	669	820	+22.4%
(同利益率)	3.1%	3.1%	±0pt
EPS	76.12円	81.61円	+7.2%

2022年9月期 上期業績予想



- 国内外の経済活動は不安定な状況が続くが、2022年9月期は緩やかな回復傾向に進むものと想定

(百万円)	21/9期 上期実績	22/9期 上期予想	前年同期比
売上高	8,207	12,900	+57.2%
営業利益	372	535	+43.7%
(営業利益率)	4.5%	4.1%	-0.4pt
経常利益	394	543	+37.5%
(経常利益率)	4.8%	4.2%	-0.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	214	305	+42.0%
(同利益率)	2.6%	2.4%	-0.2pt
EPS	26.07円	30.35円	+16.4%

当社が手掛ける4つの事業領域

- ソフトウェア開発から半導体事業まで、ソフトとハードにまたがる横断的な4事業を展開、ソフトとハード、両面に知見・技術力を有するのが当社の強み

ソフト重視

ハード重視

ビジネスソリューション事業



金融、製造業、官公庁系など、社会のインフラを支える幅広い業態のITシステムを構築

■ 関連市場
ソフトウェア開発、DX等、ICT投資全般

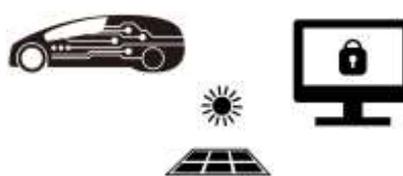
エンベデッドソリューション事業



自動車、情報家電、モバイル端末や医療用MRI等に組み込まれるソフトウェア開発並びにハードウェアの設計・テスト・企画・製造・販売・保守

■ 関連市場
DX、IoT、自動車、半導体、医療等

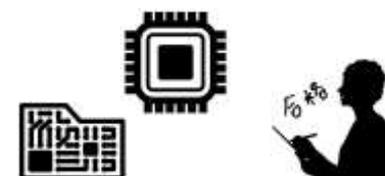
IoT/IoEソリューション事業



自動車業界やエネルギー業界向けのIoTソリューションを開発。位置情報やAR/VR技術の応用も行う

■ 関連市場
IoT、通信、エネルギー、AR/VR等

半導体トータルソリューション事業

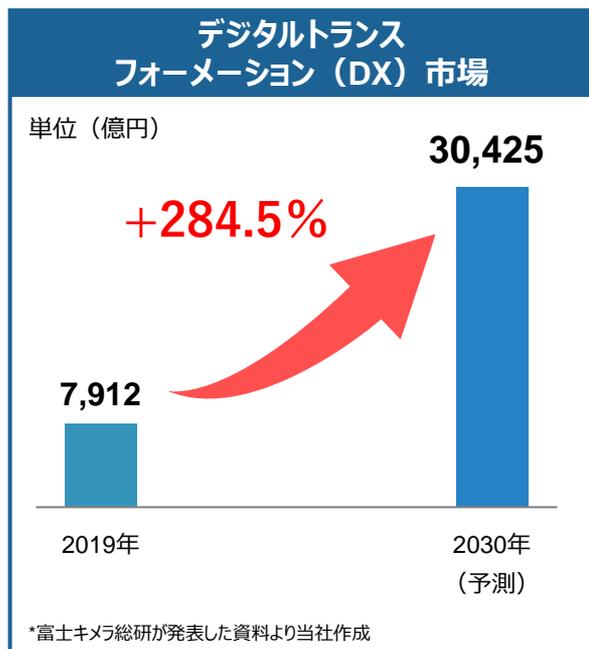


情報社会に必須の半導体分野において、設計からテスト等、開発全般にかかわるサービスを提供

■ 関連市場
半導体、IoT、通信等

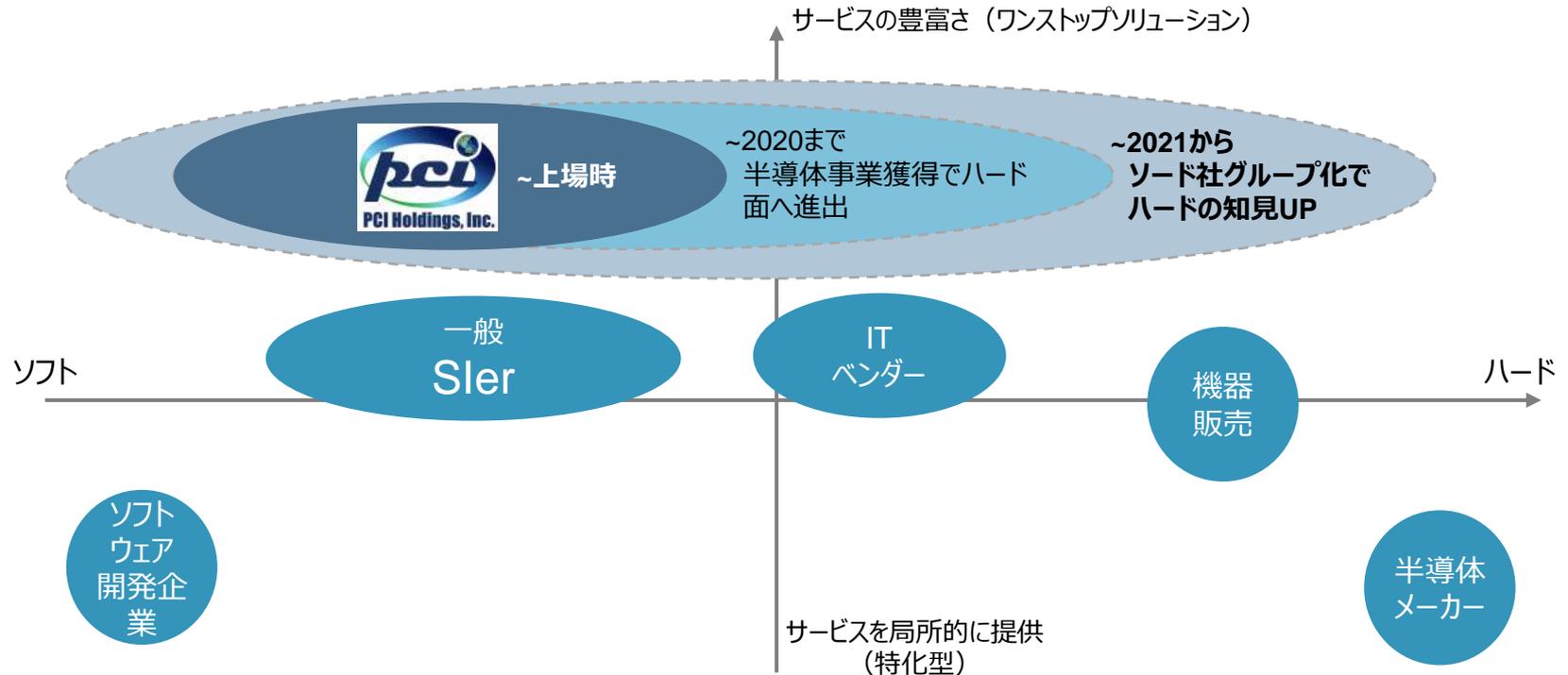
事業別マーケット概況

- 社会のデジタル化はコロナ禍により加速し、DX市場は右肩上がりに推移
- 急速なデジタル化やEV化、自動運転の本格化により、車載用半導体などや半導体市場も長期的に好調に推移する見込みであり、ソフトとハード両面の市場が成長ターゲットとなる



注力領域と将来的な業界ポジショニングの展望

- ソフトとハードの両面に拡大することにより、ITサービスにおけるワンストップソリューション提供体制を強化、他社との差別化を図る



中期経営計画の進捗状況



ソフト・ハードを問わず、 顧客のあらゆるITニーズに対応する ワンストップソリューションの確立

エンベデッドソリューション
製品設計・テスト
企画・製造・販売・保守



ビジネスソリューション
ITサービス
IoT/loE

サイバーセキュリティ、M&A、業務提携

中期経営計画「PCI- VISION 2023」 定量目標

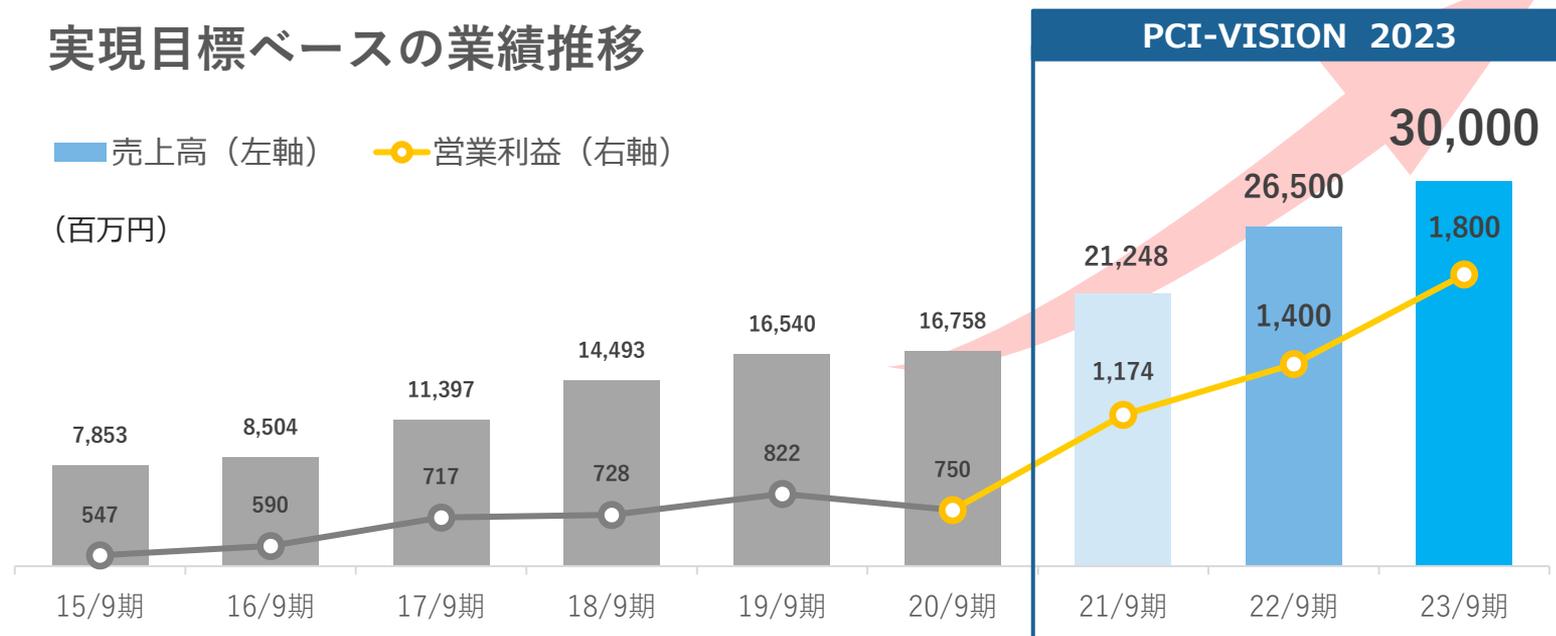


(百万円)	2021.9 実績	2022.9 計画	2023.9 計画
売上高	21,248	26,500	30,000
営業利益	1,174	1,400	1,800
親会社株主に 帰属する当期利益	669	820	1,050
1株当たり純利益 (円)	76.12	81.61	104.5
ROE	10.7%	10%以上	12%以上
連結配当性向	40.7%	38.0%	30%~50%
連結純資産配当率	4.6%	4.0%以上	

中期経営計画目標値を挑戦目標から実現目標へ変更

- 目標への挑戦で大きな飛躍へ➡売上高300億突破を目指す！
- 2021年1月の株式会社ソードの完全子会社化により、売上高300億円、営業利益18億を「挑戦目標」から「実現目標」へ移行

実現目標ベースの業績推移



① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上

→コロナ禍から需要は回復企業。スマートシティ事業への参入開始など、デジタル社会の先端案件獲得へ

② 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出

→AI等、先端技術の深耕およびワンストップソリューション提供体制の確立を進める

③ サイバーセキュリティ関連事業の推進

→「AppGuard®」の拡販、その他ソリューションラインアップの充実へ

④ 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進

→既存提携先との連携強化、および当社事業とシナジー創出が見込まれる企業の発掘、M&Aの推進

⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進

→人財採用及び教育の強化とともに、働き方改革を推進

① システムエンジニアリングサービス事業について

システムエンジニアリングサービス 取組みの成果と今後の施策

①得意領域（業界・業種/技術）へのさらなる傾注

これまでの取組とその成果	今後の取組と期待
☆得意・注力領域 <ul style="list-style-type: none">・モビリティ：やや減少（EV関連：増加）・アプライアンス：やや増加・金融：横ばい・産業イノベーション：横ばい	<ul style="list-style-type: none">・AD/ADAS、EV、Connected Car、MaaS・デジタル機器、映像系、通信／ネットワーク・銀行業務系、生損保・基幹系、クラウド、AWS
☆TOPICS <ul style="list-style-type: none">・スマートシティ事業への技術参入開始	<ul style="list-style-type: none">・スマートシティ事業インフラ構築へ参入拡大

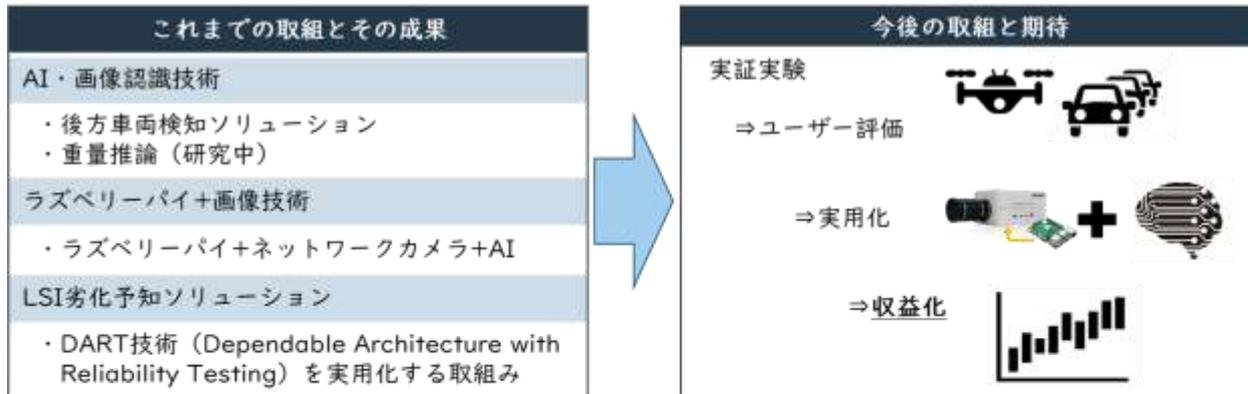
②アカウントマネジメント強化によるエンドユーザーとの取引の拡大

これまでの取組とその成果	今後の取組と期待
主力先／注力業種（約50社）との取引深耕・継続 <ul style="list-style-type: none">・2021年9月期で前年同期比10%増加	<ul style="list-style-type: none">・取り組みを継続
グループ内での案件情報共有 <ul style="list-style-type: none">・H/W販売先からのS/W開発ニーズ	<ul style="list-style-type: none">・グループ企業共同提案

② 自社ブランド製品/ソリューション/サービスについて

自社ブランド製品/ソリューション/サービス 取組みの成果と今後の施策

① 先端技術の探求を背景とした真に有益なソリューションの創出



② 企画段階から最終製品まで/サービスまでOne-Stopソリューションを提供できる体制構築



③サイバーセキュリティ関連事業について

サイバーセキュリティ関連事業 取組みの成果と今後の施策

①主に産業用機器向け「AppGuard®」の拡販に向けた更なる体制強化

これまでの取組とその成果
機器製造メーカー
東京精密 ・工場における製造ラインで稼働する Windows 制御の産業用機器へ標準搭載
ソード
・エンベデッドPCへの搭載検証開始



今後の取組と期待
・機器製造メーカーへの提案促進 ・エンドポイントセキュリティのみではなく 「AppGuard®」のコアテクノロジーを活用した サイバーセキュリティソリューションを企画


出典：株式会社シー・エル・シー「サイバーセキュリティサイト」

②セキュリティソリューションラインナップの充実

これまでの取組とその成果
「AppGuard®」とEDRサービスを組み合わせた ソリューション販売開始
ネットワークセキュリティソリューションとの組 み合わせ検証



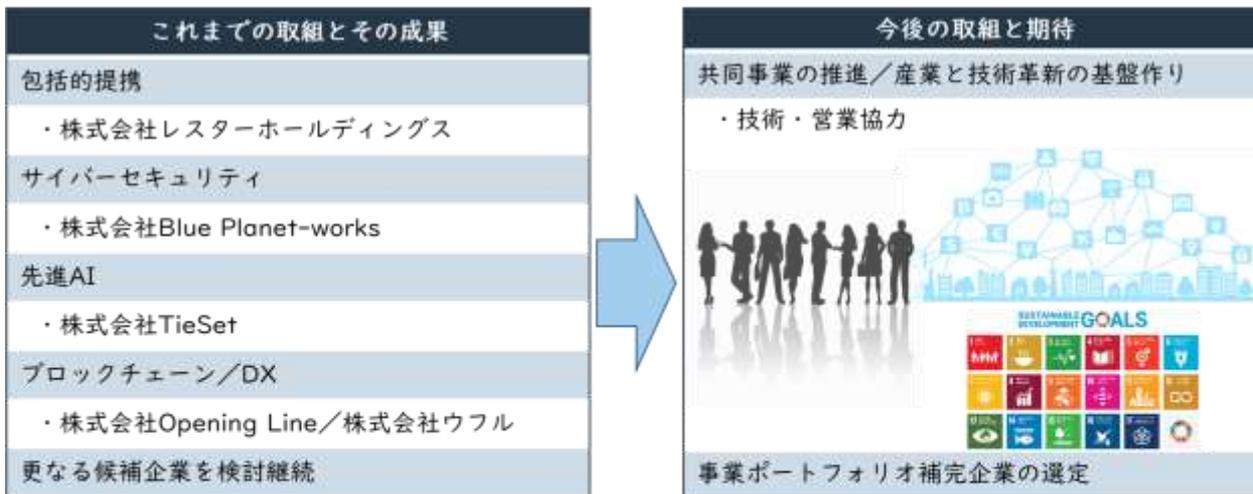
今後の取組と期待
・販売強化


出典：株式会社シー・エル・シー「サイバーセキュリティサイト」

④ 業務提携先との連携強化、積極的なM & Aの推進

業務提携先との連携強化、M & A 取組みの成果と今後の施策

① 当社グループ事業を補完するための業務提携先との連携強化



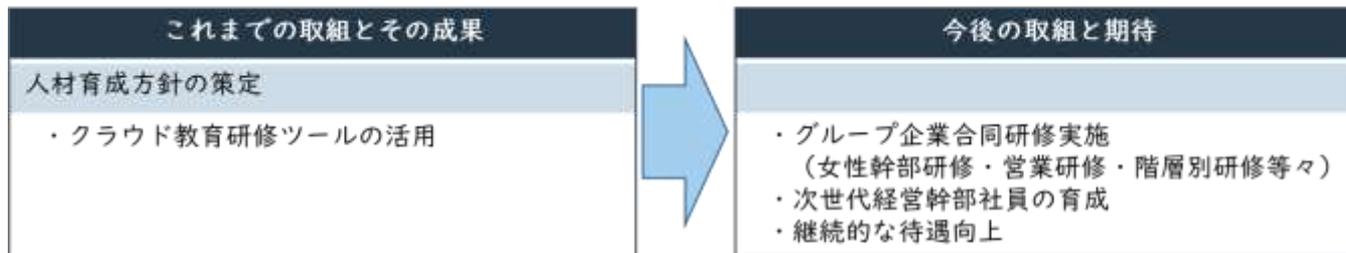
② 当社グループ事業とシナジー創出が見込まれる企業との積極的なM&Aの推進



⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進の推進

組織体制の強化及び働き方改革 取組みの成果と今後の施策

① 人材採用及び教育の強化



② グループ企業それぞれの特色に応じた働き改革の推進



業務提携とM & A方針



M&A、パートナー戦略の考え方

- 中長期的な成長を見据えた「**先行投資**」としてパートナー戦略を推進
- **常時複数の案件**を進行し、積極的な資本参加を検討中



並行して複数の案件情報を
取得、精査

マイノリティ出資～事例紹介～



株式会社Blue Planet-works

あらゆるモノがインターネットを介してつながる「IoT/IoE社会 = Connected World」における「安心・安全・豊かな社会の実現」への貢献を目指し、OSプロテクト型サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」を中心としたサイバーセキュリティ事業の充実を目指す。

株式会社TieSet

米国シリコンバレー発のAI技術のスタートアップ企業。最先端AI基盤技術、とりわけ、**連合学習技術**をはじめとした最先端技術を用いた分散AI技術の研究開発。AI技術を用いた革新的なソリューションの提案を目指す。

株式会社ウフル

DXとデータ活用を支援・推進し、Salesforce、Loocus、enebularなどのクラウドとエッジでデータが流通するための仕組みを有する。新たなソリューション・サービスを確立するとともに、**リカーリング収益をベースとした事業創出**を目指す。

株式会社Opening Line

情報通信の接続・位置測位、車載・精密機器他の組込み技術と、ブロックチェーンによって導かれる「価値のデータ」との連携を目的としたソリューションの開発を目的。**ビープラッツ株式会社と協同でブロックチェーンを搭載しより進化したサブスクリプションプラットフォーム「コレオール」**を開発。

EDGE株式会社

資本参加によりHR-Techに活用する最先端技術の提供、**アジャイル手法によるスピーディかつスマートなサービス開発を共創し**、日本のデジタル改革に向けた**スマートなHRの実現**を目指す。

レスターホールディングスとの資本業務提携



➤ 国内トップクラスのエレクトロニクス商社

国内主要半導体／エレクトロニクス商社**2020年3月期通期業績第3位**。(2020年6月10日 EE Times Japan)
2021年3月期 **通期売上実績3,238億円**

➤ 幅広い取引口座（顧客）の数・領域と取引実績

ソニーグループ、アルプス電気グループ、キヤノングループ、パナソニックグループ、日立グループ、富士通グループ、ニコングループ、NECグループ、富士フィルム、東芝グループ、インテル、サムスングループ等、大手～中小メーカー、国・自治体への多様な販路を保有 **(約2,000社)**

➤ レスターグループの長期ビジョン

多様な事業、**パートナーとの共創 (AI/IoT、半導体SW、セキュリティ、SIer機能の拡充)**、取引先との連携・協調を通じてお客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

1兆円企業の実現と世界市場を視野に入れた事業規模の拡大並びになお一層の企業価値の向上を目指す

エレクトロニクスの情報プラットフォーム

レスターホールディングスとの資本業務提携の経緯

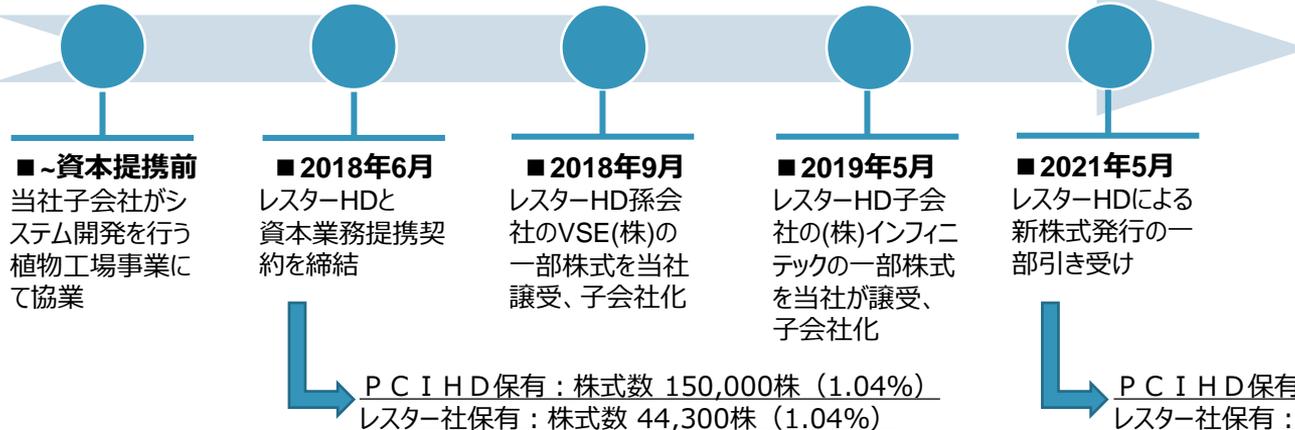
- 2018年にレスターホールディングスと資本業務提携契約を締結し「**共創協議会**」を設置
- ソフトウェア開発を得意とする当社グループと、半導体・ハードウェアに知見を持つレスターHDの「共創」により、**ITサービスのワンストップソリューションの確立**を目指す



レスターホールディングス



PCIホールディングス



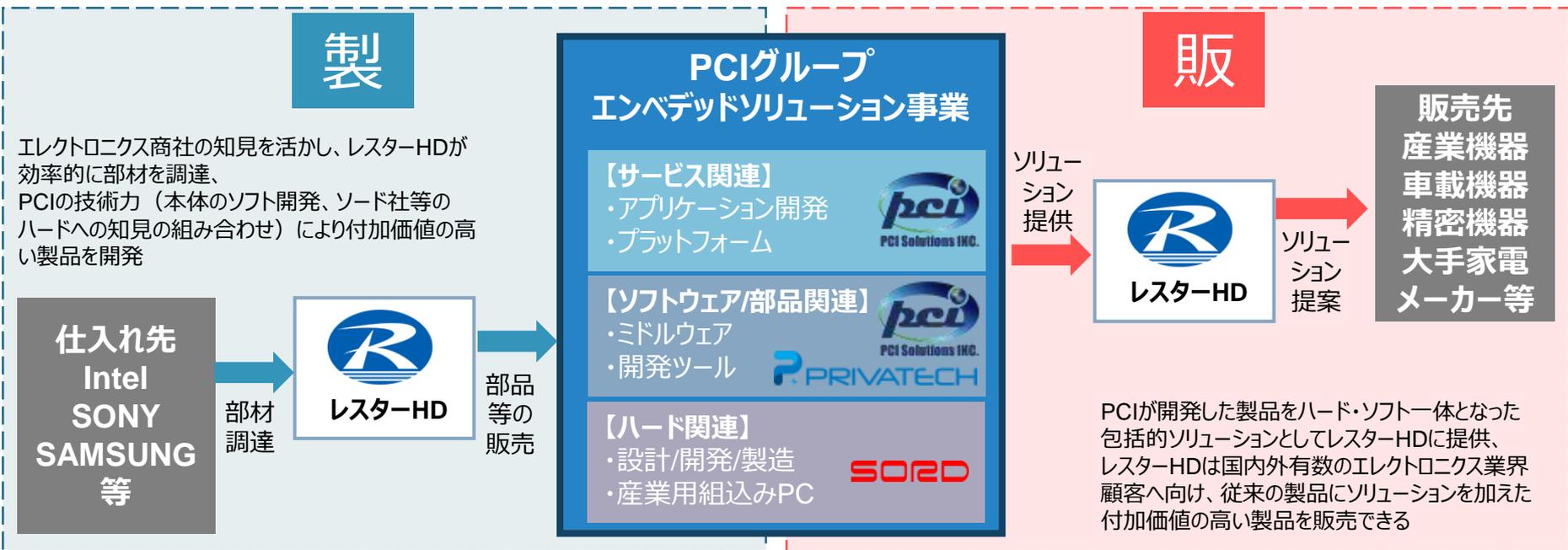
レスターHDとの
緊密な連携で、
「ワンストップ
ソリューションの
確立」を
目指す

レスターホールディングスとの協業による製販一体構想



- ・ エレクトロニクス商材に強いレスターHDより調達した部材をもとに、当社のソフト・ハードの知見を踏まえた高付加価値の製品を開発、レスターHDと繋がる国内外大手の販売先へ販売することで、製販一体のワンストップソリューションが可能となる

レスターHD社との協業により、製販一体のワンストップソリューション提供へ！



SDGs、カーボンニュートラル 株主還元への取り組み



当社グループの取り組むSDGsの方針

- ・ 当社グループは I T をもって「**安心・安全・豊かな社会**」へ貢献し、事業活動と企業活動の両面から 4 つのテーマで SDGs に取り組みます。

安心・安全・豊かな社会



事業を通じた貢献

企業としての貢献

IoTでつながる社会が
生み出す『安心・安全』

当社グループのネット
ワークを生かした貢献

M&Aを通じた産業と
技術革新の基盤づくり

蓄積された知見の提供
による次世代育成



「安心・安全・豊かな社会」を目指して



- ・「安心・安全・豊かな社会」への貢献を基軸に続けてきた社会活動を、これからも継続します
- ・「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みを、これからも継続します

CSR

ESG

SDGs

2015

マザーズ上場

2016

東証一部上場

2017

2018

2019

2020

2021

2014.5 スポーツ振興、青少年育成

2014.9 国連WFPの支援

2016.1 非常時のアドホック通信ネットワークの活用に関する研究会

2016.12 Dolphin Breeding Projectの支援

2017.2 立教池袋中学校・高等学校数理研究部の活動サポート

2017.3 「熊本城災害復旧支援金」への寄付

2018.1 地方創生と人づくりを目的とした包括的 ICT 連携（山形県村山市）

2018.10 学生投資連合USIC 主催イベントへの参加・協賛

2021.2 ドローンを活用した太陽電池発電所の
点検業務高度化の実験開始

2021.4 点字名刺プロジェクトの支援

2021.4 OpenVino™*を利用した安心・安全な
サービスに向けたAIによる車両検知開発

*OpenVino™：Intel社が提供するインテルが提供するCPU、内蔵GPU、インテル®FPGA、インテル®Movidius™VPUといった
さまざまなハードウェアでディープラーニング推論をより高速に実行するためのソフトウェア開発環境

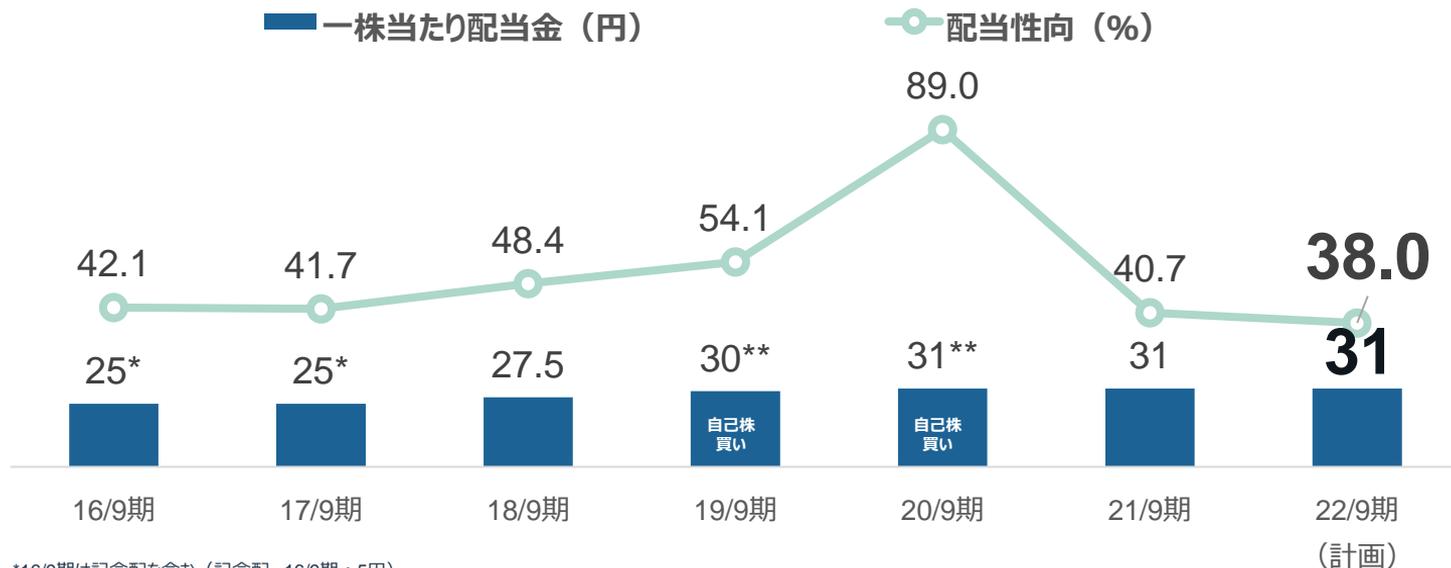
当社のサステナビリティ課題への取組方針

- 基本方針：持続可能な社会の構築／実現に向け、事業活動と企業活動の両面から、意識的かつ積極的に社会課題の解決に貢献してまいります。

	ESGの主要テーマ (重要課題)	関連する 主なSDGs	当社の取組 (方針／具体的取組)
 E Environment	地球温暖化対策 ／ 資源循環社会		■ITソリューションによる環境負荷低減への貢献 ・太陽光発電施設の点検効率化ソリューション ・電気自動車発展のためのソリューション ・スマートシティ事業への技術参画 ・生態系の保護のためのソリューション・etc.
	安全で持続可能な社会		■ITを活用した安心、安全、便利な街づくり／人々の健康的な生活への貢献 ・後方車両検知ソリューション ・除雪状況監視ソリューション ・見守りソリューション ・健康リスク検知ソリューション・etc.
 S Social	イノベーションと 経済成長		■研究開発／M&Aを通じた産業と技術革新の基盤構築 ・技術／ソリューション強化のための研究開発投資 ・先進技術協議会の設置／実施 ・様々なITニーズへの対応を可能にするためのパートナー戦略の推進
	雇用と人材活用		■蓄積された知見の提供による次世代人材の育成 ・学校／学生団体教育支援 ・IT技術・スキル習得支援による高産人材の育成（「人材育成方針」の策定） ・職場環境／働き方改革の推進（「社内環境整備方針」の策定） ・ダイバーシティ推進による全ての社員に平等な機会提供、育成、登用の実現
 G Governance	適正なコーポレート ガバナンス体制		■コーポレート・ガバナンスの充実 ・コーポレート・ガバナンスコードへの対応 ・リスクマネジメント／コンプライアンス（法令順守） ・適正な情報開示と透明性の確保 ・説明責任

株主還元について

- 連結配当性向は30%~50%を目安に設定、上場来30%超を維持
- 安定した配当を継続しながら、総合的な還元の向上を目指す
- **プライム市場を目指し、企業価値のさらなる向上に向けた施策を積極的に実施**



*16/9期は記念配を含む (記念配 16/9期: 5円)

**自己株式取得の実績 18/9期: 約1.4億円分の取得 19/9期: 約2.3億円分の取得

***2016年4月1日付で1:2、2020年4月1日付で1:2の株式分割を実施、グラフは当該分割を遡及して修正

Appendix



Company Profile



会社概要



商号	P C I ホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	20億9,189万円 (2021年9月末現在)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	21,248百万円 (2021年9月期実績) 26,500百万円 (2022年9月期予想)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：3918)	営業利益 (連結)	1,174百万円 (2021年9月期実績) 1,400百万円 (2022年9月期予想)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,636名 (2021年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長兼社長 天野 豊美	連結子会社	P C I ソリューションズ (株) (株) ソード (株) りーふねっと (株) シー・エル・シー (株) プリバテック

役員体制・拠点一覧



役員体制 (2021年12月22日開催予定の第17回定時株主総会の承認をもって、正式決定予定)

役職	氏名	経歴等
代表取締役会長兼社長	天野 豊美	日本エヌ・シー・アール(株) 常務取締役 (株)しんきん情報システムセンター 理事
常務取締役	堀部 保弘	(株)三菱総合研究所 執行役員ソリューション事業本部統括室長 P C I ソリューションズ(株) 代表取締役
常務取締役	岡 丈嗣	(株)りーふねっと 代表取締役 一般社団法人 日本ユニファイド通信事業者協会 (JUSA) 副会長
取締役	横山 邦男	(株)三井住友銀行 常務執行役員法人部門副責任役員 三井住友DSアセットマネジメント(株) 代表取締役社長兼CEO 日本郵便(株) 代表取締役社長執行役員社長
取締役	井口 直裕	Profit Cube(株) 経営企画室長 取締役経営企画本部長
取締役	杉園 和也	Profit Cube(株) 財務経理室長 取締役管理本部長
社外取締役 (常勤監査等委員)	宮原 譲	トランスコスモス(株) システムソリューション本部長取締役
社外取締役 (監査等委員)	佐藤 貴則	東京弁護士会 副会長 やまぶき法律事務所 代表
社外取締役 (監査等委員)	高原 明子	三菱商事(株) ウオンテッドリー(株) 社外取締役 (監査等委員) (株)ビッドガーデン 監査役
社外取締役 (監査等委員)	牧 真之介	牧真之介公認会計士事務所 代表 税理士法人MSパートナーズ 代表社員

P C I グループ拠点



PCI's SDGs

～ 当社のSDGsへの取組みについて ～



当社グループの考えるサステナビリティ【前提】

- 当社グループが将来にわたり企業活動を継続するためには、持続可能な社会であることが必要条件。
- 企業活動と持続可能性は表裏一体。



当社グループの考えるサステナビリティ【前提】

- 「安心・安全・豊かな社会」につながる施策
= ESG/SDGs関連施策を上場前から継続的に推進。



*OpenVino™ : Intel社が提供するIntelが提供するCPU、内蔵GPU、Intel®FPGA、Intel®Movidius™VPUといったさまざまなハードウェアでディープラーニング推論をより高速に実行するためのソフトウェア開発環境

当社グループの取り組むESGとSDGsの関係性

- 上場前から取り組んできた様々な取り組みはESG/SDGsへも貢献。
- 社会的な課題解決 = SDGs推進とESG投資は表裏の関係。



(出所) 国連等よりGPIF作成

(出典) GPIFホームページより <https://www.gpif.go.jp/investment/esg/>

当社グループの取り組むSDGsの全体像

持続可能な社会の構築／実現に向け、
事業活動と企業活動の両面から、
意識的かつ積極的に社会課題の解決に貢献。



<基本的な考え方>

- ・ 当社グループの事業領域である I T 分野で貢献する。
- ・ サステナビリティへの取組が、当社グループの持続的な成長・中長期的な企業価値の向上につながる。

■ 事業活動

IoTでつながる社会が生み出す
『安心・安全』



M&Aを通じた産業と技術革新の
基盤づくり



■ 企業活動

蓄積された知見の提供による
次世代育成



当社グループのネットワークを
生かした貢献



1. IoTでつながる社会が生み出す『安心・安全』



目標3：すべての人に健康と福祉を



- ・ 後方車両検知／情報伝達ソリューションの開発

高速道路上での車両検知を自動化することにより、道路整備における安心・安全を提供する。



- ・ 熱中症症状等早期検知ソリューションの開発

工場や建設現場等の労働者の体調管理を支援し、熱中症等を未然に防ぐ。

1. IoTでつながる社会が生み出す『安心・安全』



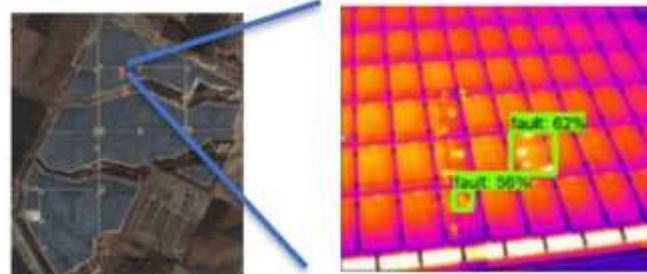
目標7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに

- 太陽光発電設備状況検知ソリューションの開発

ドローンの活用による太陽光発電設備の管理運用の自動化を推進し、太陽光発電設備の普及や効率運用に貢献する。

- ブラシレスモーターの開発

ブラシレスモーターの開発に技術参画することにより、省エネの推進に寄与する。



1. IoTでつながる社会が生み出す『安心・安全』



目標11：住み続けられるまちづくりを

・ 除雪状況監視ソリューション

除雪作業の効率化・可視化を可能にし、事故防止や行政のペーパーレス化に貢献する。

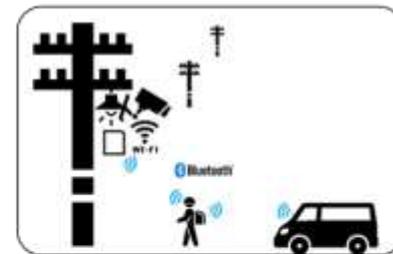


・ 市中バス到着情報伝達ソリューション

路線バスの運行情報を的確に提供することで、バス利用者のスムーズな利用を補助する。

・ 子ども・高齢者見守りソリューション

人の動きを可視化し、犯罪発生率低下に貢献する。



・ スマートシティ事業への技術参画

システム・アプリ開発への技術力提供、イノベーション創出に貢献する。



2. M&Aを通じた産業と技術革新の基盤づくり



目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう



・マイノリティ出資

先端技術を有する企業への出資、提携により、産業振興、技術革新に寄与しながら当社グループの事業拡大を図る。

<マイノリティ出資事例>



Blue Planet-works
Safety for the Connected World

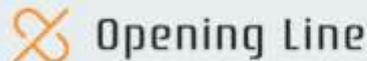
株式会社Blue Planet-works
【サイバーセキュリティ領域】



株式会社ウフル
【DX、IoT領域】



株式会社 TieSet
【最先端人工知能（AI）技術領域】



株式会社 Opening Line
【ブロックチェーン領域】

1. 蓄積された知見の提供による次世代育成

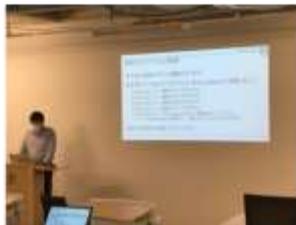


目標4：質の高い教育をみんなに

- 中学・高等学校 数理研究部活動支援
中高生の研究活動に対し、ソフト・ハード両面からの支援を行う。



- 大学情報連携学部講師支援
社会人向け教育プログラムへの講師派遣



- 大学生による投資研究支援
大学生の投資研究活動への協力、イベント協賛を行う。



- 東アジアIT企業に対するスキルアップ支援
日本国内のエンジニア不足への対応と同時に、海外企業の技術向上の支援を行う。

2. 当社グループのネットワークを生かした貢献



目標8：働きがいも 経済成長も



・ 名刺点字プロジェクトへの賛同

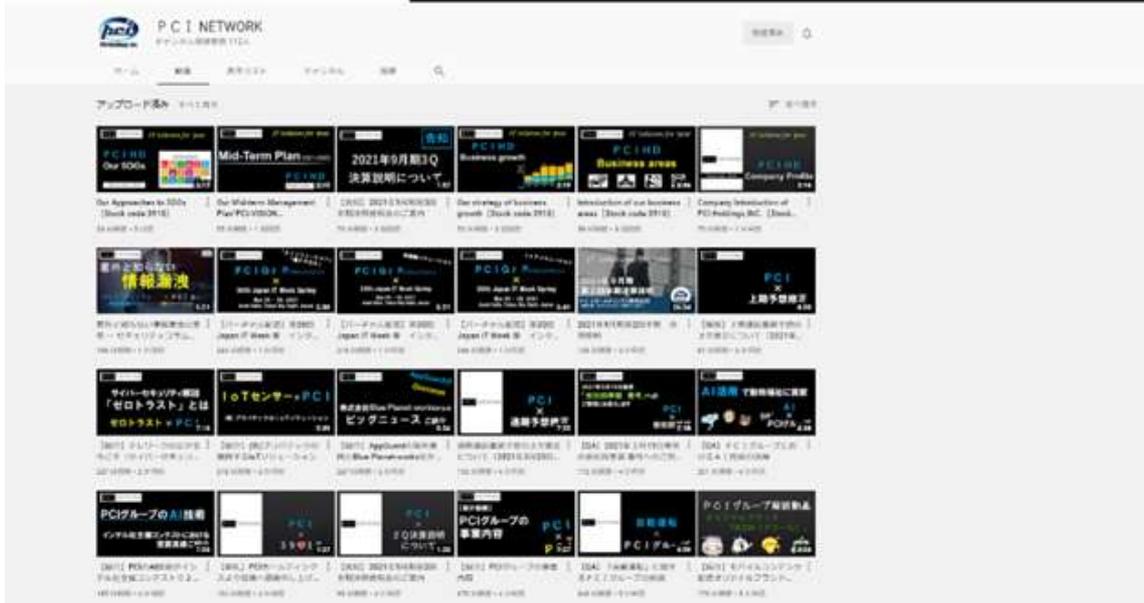
名刺への点字刻印サービス「点字名刺プロジェクト」へ賛同し、視覚障がいのある方への業務の依頼をする。
グループ各社への点字名刺活用の呼びかけ、リリースや動画等でのプロジェクトの情報発信を行う。



YouTubeチャンネル「PCI NETWORK」をスタート！



2021年2月より、自社スタッフが制作・配信するYouTubeチャンネルを開設。
IRリリースの背景や事業内容・Q&Aやトピックスを紹介しております。



チャンネル登録、 ご視聴はこちら

[>> チャンネルへ](#)



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

**IR動画はこちら→
(またはこちらをクリック)**



お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 IR・広報室

E-mail ir@pci-h.co.jp

Positively, Change, Innovate

～積極的に、変化と革新をし続ける～

